

有害物掘削除去(CD区画)



進捗状況

- ・ 2月下旬から全旋回オールケーシング工法による掘削に着手

写真

① 着手前の状況



撮影日 平成30年1月10日

①

8

平成29年度 B工区の特異な廃棄物(平成29年12月末現在)



平成29年5月10日 廃石綿等(固結物)



平成29年5月12日 廃石綿等(発塵防止剤)



平成29年5月12日 廃石綿等(固結物)



平成29年5月15日 廃石綿等(固結物)



平成29年5月16日 ドラム缶(空)



平成29年5月17日 ドラム缶(空)

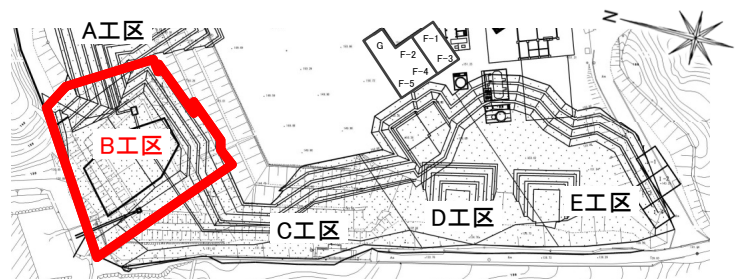


平成29年5月18日 ドラム缶(空)



平成29年5月20日 ドラム缶(内容物有)(グラインダーの刃等)

- ### 内訳
- ・ ドラム缶(内容物有1、無13)
 - ・ 廃石綿等(モルタル固結物、発塵防止剤浸潤)(大型土嚢5袋)



9

平成29年度 C工区の特異な廃棄物 (平成29年12月末現在)



平成29年6月24日
廃石綿等梱包用の袋 (空)



平成29年10月28日
ドラム缶と内容物が浸潤した土



平成29年10月28日
ドラム缶と内容物が浸潤した土



平成29年10月31日
ドラム缶と内容物が浸潤した土



平成29年10月31日
ドラム缶と内容物が浸潤した土



平成29年10月31日
ドラム缶と内容物が浸潤した土



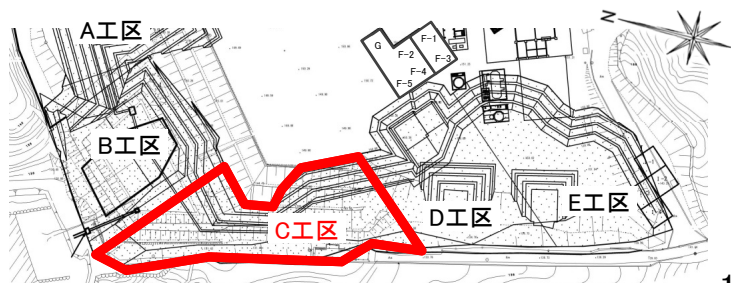
平成29年11月1日
ドラム缶内容物 (タール様物)



平成29年11月1日
ドラム缶と内容物が浸潤した土

内訳

- ・ドラム缶 (内容物有14、無0)
(ドラム缶とその内容物が浸潤した土壌等61.98t)
- ・廃石綿等梱包用の袋 (内容物なし) 10袋



平成29年度 D工区の特異な廃棄物 (平成29年12月末現在)



平成29年5月30日 青色固形物 (樹脂)



平成29年6月7日 ドラム缶
(内容物有) (ウレタン様物)



平成29年6月13日 ドラム缶 (空)



平成29年6月20日 コンデンサ



平成29年7月20日 医療系廃棄物



平成29年7月26日 医療系廃棄物



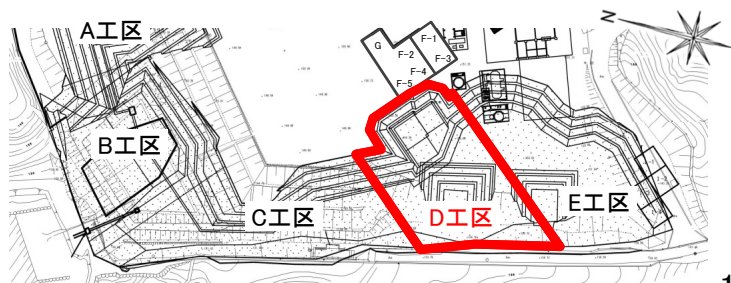
平成29年8月20日 医療系廃棄物



平成29年11月30日 コンデンサ

内訳

- ・医療系廃棄物 (大型土嚢8.5袋)
- ・ドラム缶 (内容物有1、無2)
- ・コンデンサ
(2個 いずれもPCB含有なし)
- ・青色固形物 (樹脂)



平成29年度 E工区の特異な廃棄物(平成29年12月末現在)



平成29年4月10日 ドラム缶
(内容物有)(タール様固結物)



平成29年5月22日 ドラム缶
(内容物有)(タール様固結物)



平成29年9月20日 医療系廃棄物



平成29年9月22日 ドラム缶(空)



平成29年11月1日 廃石綿等(固結物)



平成29年11月1日 廃石綿等(固結物)

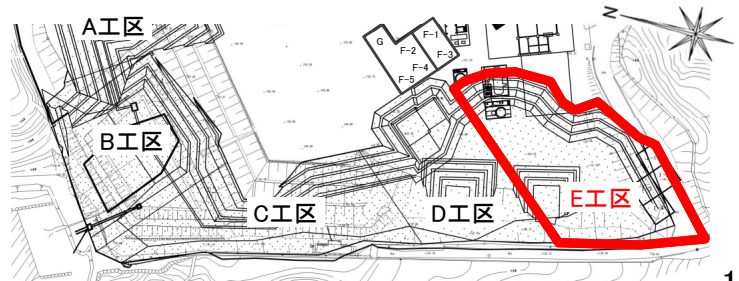


平成29年11月16日 ドラム缶
(内容物有)(コンクリート殻)



平成29年11月28日 医療系廃棄物

- 内訳**
- ・ドラム缶(内容物有12、無20)
 - ・医療系廃棄物(大型土嚢34.5袋)
 - ・廃石綿モルタル固結物(大型土嚢18袋)



12

二次対策工事土工・処分実績(平成29年12月末現在)

項目		数量	単位	前回(10月末)との差	
仮置物撤去土量		21,300	m ³	0	
掘削土量		146,900	m ³	+12,400	
埋戻可能物仮置土量		140,300	m ³	+6,400	
埋戻再生資源		24,100	m ³	+1,100	
場外への搬出・処分量	廃棄物	可燃物(主に廃プラスチック類で木くず等が混じるもの)	22,800	t	+1,200
		不燃物(ガラス陶磁器くず、金属くず)	1,340	t	+57
		有害物(掘削由来:バッテリー、感染性廃棄物相当物)	12.1	t	0
		有害物(場内残置物:バッテリー、変圧器等)	0.8	t	0
	廃棄物混じりの土	有害物(B工区、D工区他)	9,100	t	+860
		ドラム缶およびその内容物が浸潤した廃棄物土・医療系廃棄物混じり土	189	t	+62
		鋭利なものを含む等、選別に適さない廃棄物土等	590	t	0
		旧栗東町廃棄物埋立地由来の廃棄物混じり土	8,900	t	+3,900
	セメント混合廃棄物土	118	t	0	
	選別土等	ふっ素が土壤環境基準を超過したもの	7,900	t	+1,300
覆土等で鉛が土壤環境基準を超過したもの		1,400	t	0	
資源化	金属くず	97	t	0	

選別土 および 覆土等の適合確認分析

適合確認分析

- ・ 300m³毎に分析を実施して埋戻しの可否を判断
- ・ 分析項目はカドミウム、水銀、鉛、ひ素、ふっ素、ほう素、ダイオキシン類、TOC

(平成30年1月23日現在)

項目	数量	単位	前回(第22回協議会)との差	備考
選別土 適合確認回数	350	回	+ 17	
うち不適合判定数	19	回	+ 3	不適合項目: ふっ素
覆土等 適合確認回数	73	回	+ 13	
うち不適合判定数	5	回	0	不適合項目: 鉛

内容の詳細については別紙「適合確認分析の結果について」をご覧ください

- ・ 不適合選別土が3回発生し、ふっ素の溶出量が管理基準(0.8mg/L)を超過しました。
- ・ 不適合選別土のふっ素溶出量は0.83~0.88mg/Lでした。
- ・ 不適合選別土の原因となった廃棄物土の掘削箇所は、E工区でした。
- ・ 不適合選別土は、全量、場外搬出し、処分しました。